



Bulk Administration Tool

Cisco CallManager Bulk Administration Tool (BAT) は、Web ベースのアプリケーションであり、Cisco CallManager データベースに対してバルク トランザクションを実行します。BAT を使用すると、多数の類似した電話機、ユーザ、またはポートを同時に追加、更新、または削除できます。Cisco CallManager Administration を使用する場合は、データベース トランザクションごとに個々の手動操作が必要ですが、BAT ではこのプロセスが自動化されるため、高速な追加、更新、および削除操作が実現されます。

BAT を使用して処理できるデバイスとレコードのタイプは、次のとおりです。

- Cisco IP Phone (Voice Gateway Chalice (VGC) 電話機を含む)、Computer Telephony Interface (CTI) ポート、および H.323 クライアントの追加、更新、削除
- ユーザの追加、更新、削除
- ユーザ デバイス プロファイルの追加、更新、削除
- Cisco IP Manager Assistant (IPMA) マネージャおよびアシスタントの追加、更新、削除
- Cisco Catalyst 6000 FXS Analog Interface Module 上のポートの追加、更新、削除
- Cisco VG200 アナログ ゲートウェイおよびポートの追加、削除
- 強制許可コードの追加、削除
- クライアント マターコードの追加、削除
- コール ピックアップ グループの追加、削除

これらのデバイスをユーザ情報と組み合わせて処理することもできます。たとえば、CTI ポートとユーザを追加する場合、BAT の「Enable CTI Application Use」を選択することにより、CTI ポートを必要とするアプリケーション (Cisco IP SoftPhone など) を持つユーザを短時間で追加できます。

BAT のオプション コンポーネントである Tool for Auto-Registered Phones Support (TAPS) を使用すると、大規模なシステムの管理に関わる手動操作がさらに少なくなります。新しい電話機を大量に追加する必要がある場合は、BAT を使用すると、ダミーの Media Access Control (MAC; メディア アクセス制御) アドレスを持つデバイスを追加できるため、データ入力ファイルに MAC アドレスを1つずつ入力しなくて済みます。電話機のインストール後、電話機のユーザまたは管理者は TAPS 電話番号をコールして音声プロンプトに従うことにより、電話機の適切なユーザ デバイス プロファイルをダウンロードできます。

BAT および TAPS の詳細については、『Cisco CallManager Bulk Administration ガイド』を参照してください。

